



2016-2017
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2540



2017.06.01
ガバナー月信
vol. 12

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



写真提供: 竹島知憲 会員(秋田東ロータリークラブ)「紫陽花と花虻」水心園にて

CONTENTS

- 表紙 1
- 平澤ガバナー メッセージ 2
- 国際ロータリー会長 メッセージ 3
- 地区行事開催レポート、地区委員会レポート 4
- 地区委員会レポート、クラブ活動紹介 5
- クラブ活動紹介 6~7
- コーディネーターNEWS 6月号 8
- 新会員紹介、PHF・MPHF紹介、物故者情報、米山梅吉記念館便り 9
- 6月のRIレポート、文庫通信、4月会員数・出席報告 10



国際ロータリー第2540地区
ガバナー 平澤 孝夫

〒010-0001 秋田県秋田市中通2丁目6-1 秋田ビューホテル707
TEL:018-825-0288 FAX:018-825-0288 E-mail:rid2540g16-17@clock.ocn.ne.jp

ガバナー年度終了します。 ロータリアンの皆様有難うございました。

2014年12月13日に横手市で開かれた当時の宮下ガバナーエレクトの壮行会で、ノミネーターとしてご紹介いただいてから、早くも2年半が過ぎました。私の任期はあと1カ月で終了します。皆さまから「もう少しですね」と声をかけていただくようになりましたが、懸案の財団寄付と会員数の最終数値が出るまでは、ゆっくりする気になれないというのが本当のところではあります。

2年半といえば相当長い月日なのですが、私にとってはあっという間に過ぎました。2015年9月に東京で行われたGETSまでの期間は、地区行事の流れの確認、把握に充てました。その後、2回目のGETSを経て、翌2016年1月には米サンディエゴでの国際協議会に臨みました。そこでは、ジョン・F・ジャーム会長のスピーチを聞いた上で、国際ロータリーの組織、活動について学び、ガバナーとして1年間、どのようなことをするのかなど、6日間にわたってみっちりレクチャーを受けました。

帰国後は、さまざまな主要行事の準備に取り掛かりました。ガバナーに就任して、すぐ7月から公式訪問を始めました。県内の各クラブを回って感じたのは、どこのクラブも例会はもとより、親睦を深めるための取り組みや奉仕活動をきっちり進められていることでした。国際ロータリーという組織はやはり素晴らしいと再認識した次第です。各クラブに共通する悩みは、地域の人口減少と高齢化に伴う会員数の減少でした。従来のロータリー、ロータリアンというイメージを変えない限り、私たちの地区はもとより、国内のロータリー全体がやがて衰退の道をたどるのはもはや自明の理と言えます。ロータリーの基本理念を変えてはいけませんが、時代の変化に合わせていく必要はあるのではないのでしょうか。

公式訪問の際に初めて言葉を交わせたロータリアンの方々も多く、本当に楽しく充実した公式訪問でした。各クラブ、各ロータリアンの皆さまは、地域の特性やクラブの歴史と伝統を踏まえながら充実した活動に取り組んでおられます。こうした

活動は従来通り進めていただければいいと思います。ただ、所属しているクラブのみがロータリーではありません。国内の他地区の活動や、国際ロータリーの活動と考え方の変化についても広くご理解いただければと思います。

国際ロータリーの優先事項は、「ポリオ撲滅」と「平和と紛争予防・解決」です。ポリオ撲滅に関しては、ジャーム会長が強い思いを語った動画を作成し、皆様に見ていただきました。また、各地域でキャンペーンを行っていただきました。集まった募金にも本当に頭の下がる思いです。ロータリーの活動を一般の方々に理解してもらえ、いい機会になったと思います。これこそ、ロータリーが目指す「公共イメージの向上」に最も効果のある活動だったと思います。

ロータリーは「平和と紛争予防・解決」に力を入れております。3月21日にはロータリー平和フェロー、現在ガザ地区でボランティア活動をなさっている金子由佳氏をお招きし、財団100周年記念講演を行いました。大勢のロータリアンのご参加をいただきましたし、財団への寄付が世界平和へも役立っている事を少しでも実感していただけたと思います。

ガバナーとして感じたことはたくさんありますし、当地区の課題も見えてきました。こうした経験を糧に、今後は1ロータリアンとして、できる限り力を尽くしてまいりたいと思います。

この2年半余り、地区のロータリアンの皆さまからは、ひとかたならぬご協力とご支援を賜りました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



Hirasawa Takao

2016-2017年度ガバナー 平澤孝夫



テネシー州チャタヌーガで育った私や私の兄弟は、若年にして一生懸命に働くことを学びました。それは、10代のときに単身でアメリカにやってきた父から教わったことです。父は、私たちがもっといい暮らしを送り、自分が受けることのできなかつた教育やその他の機会を子どもにも与えることを願いました。製紙工場での夜勤を終え、朝8時に帰宅する父を見ては、きっと私たちのために働いているのだと理解したものです。

長年を経た今、父の一生懸命な姿を振り返ると、私はそこに父の愛を見出します。それと同時に、次の世代のために世の中を良くしようとする、どの世代にも普遍的な希望が見て取れます。今年度におけるロータリー奉仕を振り返ってみますと、会員となることを選んだ皆さま一人ひとりの中に、まさに同じ希望を見出すことができます。親がわが子のために物事を良くしたいと思うのは当然のことです。しかしロータリーではさらに大きなこと、つまり、自分の子どもだけでなくすべての子どもたちのためにより良い世界を築き、地元であれ地球の裏側であれ、私たちが必要としている人々のために活動することができます。

この2年間、妻ジュディーと共に世界各地を巡り、何が私たちの心をロータリーに引き付けるのか、幾度となく気づかされました。それは、何かの力になりたい、支援を必要とする人々の力になりたいという、ごく純粋な感情です。血液バンクを設置するウガンダでの活動、グアテマラの農村にX線検査機を送る活動、難民を支援するレバノンでの活動など、いずれにおいてもロータリアンは、最も支援を必要とする人々が第一に必要とすることを一生懸命に行っています。大切な地域社会のため、そして、そこに暮らす人々のために。

何かの力になりたい、人びとのために活動したい。このような希望こそがロータリーの本質なのだと思えます。支援を必要とする人がいれば、背を向けずに自らの手を差し伸べるのがロータリアンです。

「私はここにいるよ。できることなら何でもするよ」というのがロータリー。行動するときはいつでも、自分一人ではなく、「人類に奉仕するロータリー」の心を胸に行動します。

A handwritten signature in black ink that reads "John". The signature is written in a cursive, flowing style.

2016-2017年度国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

5月21日(日) 地区研修・協議会 開催報告

能代RC 次期地区副幹事 岩森 悠

5月21日(日)能代市のプラザ都にて2017-2018年度地区研修・協議会が開催されました。県内各地のロータリアンの方々に多数ご参加いただき感謝申し上げます。

初めに平澤ガバナーよりご挨拶を頂き、柳谷ガバナーエレクトより次年度のRI方針並びに地区方針をご説明頂きました。また、村越次期地区副幹事よりロータリークラブセントラル、ロータリーの友についてのご説明を頂きました。午後の部はRI研修リーダーの木下光一

様より『変化する世界、ロータリーと私』というテーマでご自身の体験を踏まえた貴重なお話を賜りました。その後5つの分科会に分かれてそれぞれ協議を行い、各リーダーよりご報告を頂きました。阿部委員長より米山奨学生のご紹介を頂き、最後に地区旗、バッチの交換を行いました。改めて次年度がスタートするのだと背筋の伸びる思いでした。7月からの2017-2018柳谷ガバナー年度、皆様には何卒、宜しくお願い申し上げます。



5月16日(火) 会員拡大増強委員会 開催報告

- 日時/2017年5月16日(火) 17時~18時
- 会場/秋田ビューホテル 5F 椿の間

竹島会員拡大増強委員長の招集により、ガバナー、ガバナー補佐、委員の計11名の皆様にご出席いただき、協議がなされました。

議題

「各分区の現況と今後の対策について」



6月3日(土) 第4回財団委員会 開催報告

- 日 時／2017年6月3日(土) 14時～16時
- 会 場／秋田ビューホテル 5F 椿の間
- 出席者／ガバナー、ガバナーエレクト、財団委員、地区役員 9名
議題
 - (1)2016-2017年度地区補助金について
 - (2)地区財団活動資金(DDF)使用状況について
 - (3)2016-2017年度クラブ別財団寄付状況について
 - (4)2017-2018年度(次期)地区補助金申請状況について
 - (5)グローバル補助金申請について



クラブ活動報告

5月7日(日) 大館RC『おおだてシニアファッションショー2017』

大館RC クラブ広報委員会 住吉 浩鹿

大館ロータリークラブ(秋田県大館市、会員36人、布袋屋学会長)と大館桂桜高校との共催による「おおだてシニアファッションショー2017」が5月7日、大館市民文化会館で開かれました。60～70歳代の女性を中心にシニア世代の約110人が出演し、晴れの衣装で拍手を浴びました。

昨年、クラブ創立60周年記念事業としてシニア世代に元気になってもらおうと企画したのに続く2回目の開催となりました。昨年、生活科学科服飾コースを持つ同校にプロデュース役を依頼したところ、学生とシニアの世代を越えたつながりが生まれ、1回で終わらせるのは惜しいということになりました。

今年は同校の65人がかかわり、3月から大館市連合婦人会をはじめとするシニア世代の各出演者グループと打ち合わせをするなど準備を進めました。舞台上の演出や照明、音楽の使い方などについて学生たちがアイデアを出し主導しました。

シニアが主役となるショーの第1部では、着なくなった服をリメイクしたホームドレス姿や、ふだん着ることのない華やかな貸衣装のドレス姿でシニア女性らが登場しました。和装の着付け披露や、婦人会メンバーによる寸劇、フラダンスなどに取り組むグループの登場もあって芸能発表の色彩も。出演者たちはステージを照らし出すライトを浴びながら、晴れやかな表情や、やや恥ずかしげな中にも浮き立った表情を見せていました。クラブのメンバーたちは、女性たちのエスコート役として活躍しました。

こども園の園児と親らの出演もあり、より幅広い世代がかかわったイベントとなりました。シニア以外を含めると総勢約170人が多様な姿で次々に登場。高校生たちの選曲による若々しい音楽とも相まって来場者約300人を楽ませ、1時間があっという間に過ぎました。ホームドレス姿で出演した65歳の女性は「観客も演出も地元の人で手作り感のあるアットホームなステージだった。高校生らふだん接する機会がない人にも関わ

たのもうれしかった」と話していました。

第2部は同校生によるショー。自分たちが手がけた浴衣、野良着や和服をリメイクしたワンピース、デザインを凝らしたドレスなどを実際に身につけ、来場者に披露しました。



*華やかなドレス姿のシニア女性たち。
クラブのメンバーはエスコート役を果たした。



*着なくなった服をリメイクしたホームドレスを披露した女性たち

5月5日(金) 花輪RC『ポリオ撲滅募金活動』

花輪RC 幹事 吉田 孝司

2017年5月5日(金) こどもの日に、鹿角市花輪の商店街で開かれた「かづのこどもフェア」の会場内にて花輪ロータリークラブ・十和田秋田ロータリークラブ合同でポリオ撲滅の募金活動を行いました。当日は天候にも恵まれ、たくさんの人で賑わっている中、ポリオ撲滅の横断幕、のぼり、パネルを使用してPRし、「END

POLIO NOW」と書いたポケットティッシュを配りました。「ポリオとは」の説明文を作成し、読んで募金してくれる方や子供たちからの募金もあり、年齢を問わず善意を頂くことができました。たくさんの善意でひとりでも多く子供たちにワクチンが届くことを祈っております。



5月27日(土) 秋田市内7RC『ポリオ撲滅募金活動』

秋田東RC 幹事 相場 宏泰

2017年5月27日(土)、秋田市内7RC(秋田・秋田東・秋田港・秋田北・秋田南・秋田中央・秋田西)の共同事業「ポリオ撲滅募金活動」を実施いたしました。

5月26～28日開催の「これが秋田だ！食と芸能大祭典」にあわせて、27日の10時から16時を活動時間といたしました。活動場所は「ぼぼろーど」西側のフォント近くであったため、駅利用者や買物客、イベント会場である「アゴラ広場」や「なかいち」へ向かう来場者など、多くの方から募金にご協力をいただくことができました。募金開始時は雨が心配されましたが、天候が大きく崩れることもなく、午後にはお子様に渡すために準備していた風船が足りなくなり、何度も追加の買い出しに行きながら風船を作り、盛況のうちに終わることができました。

117,651円となり、ポリオ撲滅の啓発とロータリー活動のイメージ向上に大きな成果を得ることができました。ご協力いただきました多くの皆様に感謝申し上げます。

今回の募金活動では、ロータリアンと家族、米山奨学生、事務局の約50名にご参加いただきました。募金額は、



5月20日(土) 大曲市内4RC『ロータリーデー』

大曲RC 幹事 佐藤 力

学生も授業を作り上げる

大曲4ロータリークラブ記念事業 国際教養大学学長鈴木典比古さん講演

2016—2017国際ロータリー第2540地区の大曲、大曲南、大曲中央、大曲仙北の大曲4ロータリークラブは合同でロータリーデー記念事業として「鈴木典比古講演会」5月20日、大曲市民会館小ホールで開催した。

国際教養大学学長の鈴木典比古さんは「世界に通用するリベラルアーツ教育を目指して」と題し講演し、高校生を含む約210人が聴講した。

開会に先立ち、大曲ロータリークラブの伊藤辰郎会長は「当県は人口減少と高齢化が進んでおり、経済、文化、教育等の分野で深刻な影響を被っている。このような状況を打開するには志を持った若い力に期待するしかない。本日は今、日本で最も注目されている大学の学長様に講演を頂きますので皆様よろしくお願います」とあいさつ。

「リベラルアーツ」とは様々な学問領域を自由に、そして積極的に学ぶことを指し、講演で鈴木さんは「先生と学生との間、または学生と学生との間でディスカッション、対話を繰り返しながら授業を行っていくのが私達の大学のやり方。これがリベラルアーツ教育における原型」と話し、「すなわち先生がリードし、学生が従うだけではなく学生も授業を作り上げるという役割と責任、自由さがあるということ」と説明した。

大学通信が2016に発表した卓越する大学ランキングについても触れ「『グローバル教育に力を入れてい

る大学』、『小規模だが評価できる大学』で1位を獲得したほか、『教育力が高い大学』、『入学後、生徒を伸ばしてくれる大学』においても4位と高い評価をされている」と述べた。

その後、大学の取り組みについて、入学から卒業まで学生がどういった成長をしたかを調査する「国際ベンチマーキング」、「世界基準カリキュラムの提供」、「日本の英語教育を改革」、学生寮を生活寮から教育寮に転換する「テーマ別ハウス群」の4つを挙げ、「一見不慣れた田舎の地にありながら、やっていることは非常に世界的で日本の他の大学の追随を許さない内容の教育を行っている」と講演を締めくくった。

講演後には質疑応答の時間が設けられ、来場した高校生から「私達高校生が先生と理解を深め合うために何が出来るのか？」と質問が挙がり、鈴木さんは「予習をしていくことが1番大事。個人的な意見だが高校でも授業の内容や進め方を指す計画書『シラバス』を取り入れ、学生が自分で予習をして、クラスでは先生と一緒に『今日はこれをやりましょう』といった感じに授業を運営することが大切だと思う」と答えていた。

講演会の前には大曲中央ロータリークラブが「ネパールでの国際支援活動」の報告を行い、ホールでは各クラブの活動紹介、米山記念奨学基金留学生の活動紹介、財団基金の募集活動も行われ多くの市民が活動に関心を寄せていた。





コーディネーター NEWS

2017年6月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
 ロータリーコーディネーター
 ロータリー公共イメージコーディネーター
 今月号の担当 Zone 3 RC

■ 2017年国際ロータリー理事会で新ゾーン編成発表

日本のロータリークラブ会員は、ここ数年下げ止まりで微増というところですが、世界では、インド、台湾、韓国などが大きく会員数が伸びました。それを受けて、8年ごとに見直しされる世界34ゾーンの編成が国際ロータリー理事会で見直されました。それによると日本は、第3ゾーンは今までの11地区に第2ゾーンから2630地区(岐阜県・三重県)が加わり約35,300名となります。第2ゾーンは第1ゾーンから2570地区(埼玉西北)と2770地区(埼玉東南)と2790地区(千葉)2820地区(茨城)と2840地区(群馬)が加わり約35,400名となります。第1ゾーンは日本の9地区にバングラデシュとインドネシアとパキスタンが加わり約31,200名と編成されました。第1ゾーンに外国が加わっても、ロータリー研究会や他のセミナーはいままで通り日本の全地区合同で開催されます。この編成は、今年6月の国際ロータリー理事会で微調整があり、2020年までに移行が完了する予定です。

■ ゾーンとは

国際ロータリー会長指名委員と国際ロータリー理事を選出するために、国際ロータリー理事会が決めたものです。34ゾーンあり、目安の会員数は1ゾーン35,000名です。理事は17名で任期が2年、34ゾーンの奇数ゾーンからのと偶数ゾーンから交互に選出されます。現在の日本の理事は、第2ゾーンの斎藤直美理事(豊田RC)です。また、各ゾーンには国際ロータリー会長の指名により、国際ロータリー研修リーダー、ロータリーコーディネーター、ロータリー公共イメージコーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーターなどの委員が置かれています。

■ クラブ 会員数

Zone 1	829	28,740
Zone 2	652	28,202
Zone 3	791	32,846
合計	2,272	89,788

2017年4月30日現在のClub Centralのデータです。

第2ゾーンの数值には
 GUAM, MICRONESIA, NORTHERN
 MARIANAS, PALAUが含まれます。

■ BOX登録件数 196件

2017年5月14日現在



世界同期のコーディネーター
 シカゴでコーディネーターセミナー
 2014年3月

今年度6月で日本のゾーンの3人のコーディネーターが任期満了となります。第1ゾーンの渡辺敏彦公共イメージコーディネーター、第2ゾーンの高野孫左エ門公共イメージコーディネーター、第3ゾーン安満良明ロータリーコーディネーターです。2014年3月一緒にシカゴで5日間の研修を受けたことが始まりでした。コーディネーターはそれぞれの部門で地区とクラブの支援が目的です。様々な地区と分区、グループでお招きいただき、ありがとうございました。皆様のお役に立てたかどうか心配です。また、次年度からは新しいコーディネーターと継続のコーディネーターがおられますので、素晴らしい方々ですので、ぜひ声をかけてください。

第3ゾーン ロータリーコーディネーター 安満 良明

新会員のご紹介 ようこそロータリーへ

山本ロータリークラブ

佐藤 圭悟 Sato Keigo

職業分類/社寺建設 役 職/専務
勤務先/えびす工務店 入会年月日/2017年4月1日
紹介者/北林鉄美



大曲ロータリークラブ

佐藤 辰 Sato Shin

職業分類/新聞発行業 役 職/支局長
勤務先/秋田魁新報社 入会年月日/2017年4月10日
大曲支局 紹介者/藤田向



PHF・MPHF・米山功労者紹介

大曲ロータリークラブ

伊藤 辰郎 Ito Tatsuro

表彰分類/米山功労者5回目 1998-1999年度/会長
入会年月日/1987年2月 2016-2017年度/会長



湯沢ロータリークラブ

伊藤 壽々雄 Ito Suzuo

表彰分類/MPHF4回目 2008-2009年度/ガバナー
入会年月日/1979年7月 2011-2016年度 公益財団法人
2003-2004年度/会長 ロータリー米山記念奨学会理事
米山功労者7回目



物 故 会 員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

潟上ロータリークラブ

平野 三好

●1968年6月入会
●2017年4月26日ご逝去(享年83)
職業分類/塗装及び装飾
チャーターメンバー
2016年7月1日より名誉会員



秋田北ロータリークラブ

小南 昭二郎

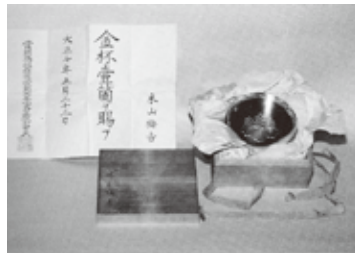
●1973年12月入会
●2017年4月28日ご逝去(享年81)
職業分類/木造建築工事
1977-1978年度 幹事
1991-1992年度 会長
1994-1995年度 地区ロータリーの友委員長
2004-2005年度 ガバナー補佐
PHF 米山功労者 ベネファクター



米山梅吉記念館便り

シリーズ 10 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、大正6年(49歳)に目賀田種太郎委員長の政府特派財政経済委員に任命されました。一行はサンフランシスコ到着後、セントルイス、シカゴ、ニューヨーク、ワシントンなどで、朝野の要人と交流をかさねましたが、米山は一人「南方に旅行し日米綿花に関し将来の発展に就き取調べをなしたること」のためにダラスに向かい、大正7年の元旦を福島喜三次と共にしました。福島家のサイン帳には「はからずも御親切になり此地に新年を迎へ候を永く記念すべく候 大正7年1月元旦 米山梅吉」と記され、俳句3首を残しています。福島は当時ダラスRC会員でしたから、ロータリーの話もしたのではないかと推測されています。



帰国後大正天皇に拝謁、下賜された金杯

米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌
本文268ページ/2,500円

米山梅吉の聲音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。

米山梅吉記念館のホームページが新しくなりました。

米山梅吉に関する年表や人物像などの記述を充実させました。2019年には記念館創立50周年を迎えますので、その記念事業の一環としてリニューアルしたものです。ぜひご覧ください。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL: <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email: yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時
【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



ロータリーレート
2017年6月のレート **110円**
1ドル



ロータリーの友6月号の情報

ロータリーの友6月号に第2540地区の記事が掲載されております。

- ロータリー財団100周年を祝う
「国際人道支援の第一線から」(23P)
中区(秋田分区)ガバナー補佐 三浦潔
- ロータリーネットワーク
「柔道に励む子どもたちに投げ込みマットを寄贈」(53P)
秋田港ロータリークラブ



会員の入退会報告

RI人頭分担金などの請求額は、My ROTARY(オンライン)のデータベースに記録されている7月1日現在の会員情報を基に計算されます。このため、**会員情報は7月1日までに必ず更新していただきますようお願い致します。**請求書の修正や金額調整はできませんので、正確な会員情報のご登録をお願いします。

- オンラインより (<https://www.rotary.org/myrotary>)
- 会員情報書式より(報告書式は地区HPからダウンロード)

ガバナー年度終了のご挨拶

2016-2017年度ガバナー事務所は6月30日をもって閉鎖致します。これもひとえに皆様からの温かいご支援・ご指導と、多大なるご協力の賜物と深く感謝申し上げます。一年間、誠に有難うございました。7月1日以降は直前ガバナー事務所として残務に当たりますので宜しくお願い致します。



文庫通信 357号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

- ◎「もっと世界を見つめ直そう」
千 玄室(2016)6p(D.2640地区大会記録誌)
- ◎「まとめと提言」
黒田正宏 2017 3p(ロータリーの職業奉仕の歩みと今後への提案)
- ◎「私の信奉するロータリー」
松宮 剛 2017 10p
- ◎「ロータリーはどこに行く?~日本のロータリー100周年に向けて」
本田博己 2017 10p(D.2760地区大会記録誌)
- ◎「ロータリーを解り難くしているもの」
大重勝弘 2017 1p(D.2730月信)
- ◎「職業奉仕・Vocational Service」
2017 2p(D.2730月信)
- ◎「2016年規定審議会における職業奉仕の変更点」
2017 2p(D.2650月信)

■2016-2017年度 4月の会員数・出席率報告

分区	クラブ名	6月末 会員数	7月1日 会員数	4月末 会員数	女性 会員数	40歳未満 会員数	増減	例会 出席率
大館・鹿角	大館	36	36	36	1	1	0	59.61%
	花輪	18	18	19	1	0	1	83.06%
	鷹巣	13	13	14	0	0	1	87.47%
	大館北	18	19	18	3	0	-1	77.78%
	十和田秋田	26	27	27	0	1	0	78.45%
	大館南	32	32	35	1	0	3	78.80%
	大館中央	18	18	18	1	0	0	88.88%
能代・男鹿	能代	54	54	56	5	4	2	71.92%
	能代南	10	10	10	1	0	0	87.50%
	男鹿	17	18	14	3	1	-4	83.30%
	二ツ井	10	9	9	1	0	0	70.40%
	五城目	14	14	14	0	0	0	52.00%
	湯上	29	29	33	0	0	4	80.71%
	男鹿北	19	19	19	0	2	0	76.32%
	山本	19	19	21	1	1	2	86.91%
	能代白神	14	14	14	6	0	0	76.79%
	秋田	85	92	88	3	0	-4	83.00%
秋田	秋田東	75	75	71	4	4	-4	100.00%
	秋田港	36	36	38	3	0	2	97.37%
	秋田北	44	44	46	2	0	2	100.00%
	秋田南	28	28	26	1	2	-2	87.50%
	秋田中央	35	37	39	1	2	2	84.48%
	秋田西	13	13	13	2	1	0	64.01%
	本荘 由利	本荘	30	31	32	1	0	1
矢島		11	11	11	0	0	0	47.72%
仁賀保		9	9	9	0	0	0	100.00%
象潟		7	7	7	0	0	0	76.00%
本荘東		23	23	22	0	1	-1	86.50%
本荘南		9	9	9	0	0	0	100.00%
大曲・仙北	大曲	52	52	52	4	3	0	83.33%
	角館	13	13	11	1	2	-2	95.20%
	大曲南	15	15	15	2	1	0	100.00%
	大曲中央	10	10	11	4	1	1	100.00%
	田沢湖	17	17	18	2	1	1	83.33%
	大曲仙北	16	16	16	5	0	0	85.00%
	横手・湯沢	湯沢	60	62	62	0	0	0
横手		63	63	63	3	0	0	86.40%
横手南		61	64	66	2	2	2	97.29%
西馬音内		14	15	16	1	6	1	51.56%
湯沢南		19	19	19	2	1	0	75.00%
稲川		7	7	7	2	0	0	95.20%
横手東		13	13	13	1	0	0	69.23%
合計	42RC	1,112	1,130	1,137	70	37	7	81.20%

※増減・・・4月末会員数-7月1日会員数

- ◎「規定審議会決定に対する日本ロータリーの統一的見解について」
富田英壽 2017 4p(D.2700月信)
- ◎「ロータリー考『例会の頻度』」
岡部一輝 2017 2p(D.2610月信)
- ◎「ロータリーの新しいゾーン構成が決まる」
2017 2p(D.2650月信)
[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011
東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
●開館:午前10時~午後5時
●休館:土・日・祝祭日